

平成20年5月1日
株式会社 新生銀行
(コード番号: 8303)

「新生・トロイカ ロシアファンド」のお取り扱いを開始

－ ロシアの上場株式を主要投資対象とした、現地運用会社による国内初の公募投資信託 －

当行は、平成20年5月12日(月)より、当行の全額出資子会社である新生インベストメント・マネジメント株式会社(以下、「SIM」)が設定予定の追加型証券投資信託「新生・トロイカ ロシアファンド」のお取り扱いを開始します。当ファンドはロシアの現地運用会社による公募投資信託としては国内で初めてのものであり、現地の成長性のある有望な株式に幅広く投資することを目的とした商品となっております。当初募集期間は、平成20年5月12日(月)より5月29日(木)まで、ファンドの当初設定日は5月30日(金)です。また、5月30日(金)以降も継続募集いたします。

当ファンドの主な投資対象は、ロシアの大手投資信託運用会社であるトロイカ・ダイアログ・アセット・マネジメントが実質的に運用する外国投資信託「Troika Shinsei Russia Fund」の Class A 受益証券(以下、「投資先ファンド」)です。その他SIMが運用する「SIM ショートターム・マザー・ファンド」受益証券にも投資し、その投資配分においてはロシアの上場株式等を主要投資対象とする「投資先ファンド」を高位に保ちます。

ロシアは世界有数の広大な国土に石油や天然ガスをはじめとする多くの鉱物資源を有しています。近年は商品価格の上昇などが同国の財政面に好影響を与え、BRICs の一角をなす国としてその成長性が注目されています。また、政治面においてもロシアは国際的に重要な地位にあるほか、高い教育水準と科学分野における研究開発体制の強化を背景に、最近は見覚ましい経済発展を続けており、これらの点においても世界中から最も注目を集めている国のひとつと言えます。

当ファンドの実質的な運用を行うトロイカ・ダイアログ・アセット・マネジメントは1996年にロシア国内で最も早い時期に設立された運用会社のひとつであり、その豊富な経験と実績をもとにしたリサーチ体制には定評があります。当ファンドの運用においては、ロシア現地の運用会社としてのメリットを生かして、ADR(米国預託証券)や GDR(国際預託証券)などで取引されない現地株式にも積極的に投資する方針です。

当行のリテール部門では、お客さまの生活に豊かさと彩りを添えることを目指し、「Color your life」というブランドコンセプトを掲げ、今後とも、お客さまのニーズに合った付加価値の高い商品・サービスを提供してまいります。

※ 詳細は別添資料をご覧ください。

以 上

「新生・トロイカ ロシアファンド」商品概要

名称	新生・トロイカ ロシアファンド
投信委託会社	新生インベストメント・マネジメント株式会社
ファンド形態	追加型証券投資信託／ファンド・オブ・ファンズ／自動けいぞく投資可能
ファンドの特色	<p>① 主としてロシアの金融商品取引所に上場している株式等を実質的な投資対象とし、中長期的な信託財産の成長をめざします。なお魅力度によっては、中小型株へも積極的に投資します。</p> <p>② 主にロシア株式へ投資を行うケイマン籍の円建て投資信託「Troika Shinsei Russia Fund」の Class A 受益証券（以下「投資先ファンド」といいます）への投資割合を高位に保つことをめざします。</p> <p>③ 当ファンドの主要投資対象である「投資先ファンド」は、ロシアの大手民間投資銀行グループである「トロイカ・グループ」のトロイカ・ダイアログ・アセット・マネジメントの分析等に基づいて運用します。</p> <p>④ 原則として、為替ヘッジは行いません。</p>
ベンチマーク	なし ※なお、「投資先ファンド」においてはロシアRTS指数*1を参考指数とします。
当初募集期間	平成20年5月12日(月)～平成20年5月29日(木)
当初設定日	平成20年5月30日(金)
継続募集期間	平成20年5月30日(金)～平成21年8月27日(木)まで ※ 募集期間は上記継続募集期間満了前に有価証券届出書を提出することによって更新されます。
信託期間	当初設定日から原則として無期限
決算日	年1回 毎年5月29日(休業日の場合は翌営業日)
分配方針	経費控除後の繰越分を含めた配当等収益および売買益(評価益を含む)等の範囲で、委託者が基準価額水準、市場動向等を勘案して決定。 ※ 分配金は増減したり、支払われないことがあります。
お申し込み・ご解約	原則として毎営業日(ダブリンの銀行休業日もしくはロシア取引システム(RTS)の休業日の場合には、取得のお申し込みおよび換金のご請求の受付を行いません。その他、大口解約を制限する場合があります)。
お申し込み価額	取得申込日の翌営業日における基準価額とします(当初募集期間は1口あたり1円)。
ご解約価額	ご解約申し込み受付日の翌営業日の基準価額から信託財産留保額を控除した額です。ご解約代金はご解約受付日から起算して7営業日目からお支払いします。
当行取扱チャネル	店頭(新生バンクスポットを除く)、インターネットバンキング(新生パワーダイレクト)、コールセンター(新生パワーコール)
当行申込単位	1万円以上1円単位

* 1 ロシアRTS指数は、米ドル建てで算出される50銘柄から構成される時価総額加重平均指数で、1995年9月1日の時価総額を100として算出されます。

《主なリスク》

当ファンドは、主に投資信託証券への投資を通じてロシアの株式等に投資を行います。当ファンドの基準価額は、組み入れた株式の値動き、為替相場の変動などの影響により上下しますので、これにより**投資元本を割り込むおそれがあります**。運用の損益はすべて投資信託をご購入のお客さまに帰属します。また、当ファンドの主なリスクは以下のとおりです。リスクに関する詳細な情報は投資信託説明書(目論見書)にてご確認ください。

◎カントリーリスク ◎株価変動リスク ◎信用リスク ◎流動性リスク ◎為替変動リスク ◎金利変動リスク

《お客さまにご負担いただく費用など》

※詳細については投資信託説明書(目論見書)をご確認ください。

※お客さまにご負担いただく費用の合計額などにつきましては、ファンドの保有期間などに応じて異なりますので、表示することができません。

お申し込み時	
当行申込手数料 (約定金額*2に 対する料率)	申込日の翌営業日の基準価額に以下の料率を乗じた額 1億円未満 3.15% (税抜3.0%) 1億円以上3億円未満 1.05% (税抜1.0%) 3億円以上 0.525% (税抜0.5%)
信託期間中	
実質的な信託報酬	純資産総額に対して年率1.9575%(税込み) ※上記は当ファンドの信託報酬(年率1.2075%(税抜1.15%))と主要投資対象ファンドにおける運用報酬(0.75%(概算))を合算したもので、お客さまが実質的に負担する信託(運用)報酬率の概算値です。
その他費用	組入有価証券の売買委託手数料、外貨建資産の保管などの費用、借入金の利息、立替金の利息、監査報酬など ※金額などについては、運用状況などにより変動するものであり、事前に料率、上限額などを表示することができません。
解約時	
解約手数料	ありません
信託財産留保額	解約申込日の翌営業日の基準価額に0.3%を乗じた額

*2 約定金額とは、お申込金額から申込手数料および申込手数料に対する消費税などの相当額を控除した金額を指します。

【投資信託について】

- 販売は新生銀行、運用は投資信託委託会社となります。
- 投資信託は預金等ではなく、運用実績は市場環境等により変動します。したがって元本保証および利回り保証のいずれもなく、運用実績によっては投資元本を割り込むおそれがあります。
- 投資信託は預金等ではなく、預金保険の対象ではありません。また銀行でご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象ではありません。
- 投資信託の換金については、換金お申し込み制限期間(クローズド期間)が設定されているものがあるほか、換金までに相当の期間がかかるものもあります。
- 当行における国内籍投資信託の換金方法は解約請求制のみであり、買取請求は行っておりません。
- 投資信託をお申し込みの際には、予めまたは同時に目論見書(目論見書補完書面を含みます)をお受け取りいただき、内容をご確認のうえ、お客さま自身でご判断ください。なお、目論見書(目論見書補完書面を含みます)は、店頭やインターネット(新生パワーダイレクト)で入手いただけます。また、郵送でもお届けします。インターネット専用の投資信託の目論見書(目論見書補完書面を含みます)は、新生パワーダイレクトでのみご覧いただけます。

株式会社新生銀行／登録金融機関：関東財務局長(登金)第10号／加入協会：日本証券業協会、(社)金融先物取引業協会

【新生インベストメント・マネジメント株式会社の概要】

新生インベストメント・マネジメントは、投資信託委託業者および投資一任にかかる業務の認可を取得し、新生銀行全額出資の運用会社として2003年4月1日に開業しました。

新生インベストメント・マネジメントは、「マネジャーズ・マネジャー」というビジネス・モデルを標榜しています。日本の投資家の皆さまのニーズに応じて、世界中から各分野で優れていると思われる運用者を探し出し、投資家の皆さまにとって最も適切と思われる形式で商品を組成し、必要に応じてそれらを適切にアロケーションして提供することを目指します。

新生インベストメント・マネジメントの運用資産残高は2008年2月末時点で3,413億円となっています。

【トロイカ・ダイアログ・アセット・マネジメントについて】

当ファンドの実質的な運用を行うトロイカ・ダイアログ・アセット・マネジメントが属するトロイカ・グループは、5つのビジネスエリア(証券、トレーディング、投資銀行、アセット・マネジメント、プライベートエクイティ)からなる金融グループで、1991年に設立され、ロシアの民間投資銀行としては最も長い16年の歴史を持っています。

トロイカ・ダイアログ・アセット・マネジメントは、ロシアで最も歴史ある運用会社のひとつとして1996年に設立されました。2008年2月末現在の運用総資産残高は47.8億ドル(約5008億円、2008年2月末現在の為替レートで円換算)、投資信託の運用資産残高や主力ファンドの残高においては業界トップを誇るロシアでも有数の大手運用会社です。

【ロシアの運用会社の投資信託の運用資産ランキング】(2007年12月末現在、クローズドエンド型を含まない)

Troika Dialog	11億9456万米ドル(マーケットシェア:16.4%)
UralSib	8億6311万米ドル(11.9%)
Alfa Capital	6億7598万米ドル(9.3%)
Bank of Moscow Asset Management	4億5529万米ドル(6.2%)
KIT Fortis Investment Management	3億5568万米ドル(4.9%)

【ロシア国内投資信託残高ランキング】(2008年2月末現在)

Troika Dialog, JSC	6億2102万米ドル(マーケットシェア:8.7%)
UralSib, JSC	3億6901万米ドル(5.1%)
Alfa Capital, Ltd.	2億6795万米ドル(3.7%)
UFG Invest, JSC	2億4441万米ドル(3.4%)
Rosbank Asset Management Company, Ltd.	2億1805万米ドル(3.0%)

(出所:Financial Investfunds Information のデータをもとに新生インベストメント・マネジメントにて作成)